

＜バイオサイエンス学科＞（認定課程 中一種免(理科)）

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	化学と生物学を中心に、生命科学、分子生物学を学ぶための基礎を培うとともに、語学等を学び広い教養を養う。教職についての理解を深め、教員としての適性を確認する。
	後期	前期に引き続いて生命科学の基礎を培い、広い教養を養う。加えて、分子生物学など専門分野の基礎を学び理解を深める。さらに教育原理を学ぶことにより、教育の基礎理論を習得する。
2年次	前期	生命科学に対して知識を深めるとともに、細分化された専門分野に関して学び、基盤を形成する。加えて、無機化学、有機化学実験実習により、実験の基本的な手法、原理を習得する。教職の基礎を理解し、将来の進路について考える。
	後期	前期に引き続き生命科学をより深く理解する。加えて、形成された基盤に基づき、生命科学について理論的に、また広い視野で考える能力を身に付ける。実験実習を通して生命科学に関する研究の実際を理解し、技術を習得する。理科教員として必要な基礎的な科学的知識を再確認する。
3年次	前期	研究室に所属し、最新技術を用いた研究を開始する。そしてその技術を習得し、原理を理解する。理科教員として必要な指導法、学校教員として必要な指導法を身に付ける。
	後期	自らの研究テーマに関する情報の収集法を習得し、情報の効果的な活用法を理解する。実験を通して、論理的思考力を強化する。引き続き教員として必要な指導法を習得するとともに、教育実習に臨むための態度を確立する。
4年次	前期	研究テーマについて実験・調査を進める。教育実習により、教育現場の実際をよく理解する。大学で学んだ知識・技術を確認するとともに、教師の仕事について理解を深め、教員としての資質を確認する。
	後期	卒業論文製作、発表を通してプレゼンテーション能力を身につける。大学教育を通して培ったことを再認識し、教職者としての意識、自覚を確立させる。